

# 急性弛緩性麻痺(AFP)<sup>\*</sup>の発症状況

<sup>\*</sup>: 15歳未満の症例。急性灰白髄炎(ポリオ)を除く。

## ● AFP届出の義務化

2018年5月1日

### — 15歳未満の「AFP」が、感染症法に基づく5類感染症全数把握疾患に指定 —

- ・ 診断した場合は管轄の保健所に7日以内に届け出ることが義務づけられました。
- ・ AFPサーベイランスは、**世界ポリオ根絶計画**のため、多くの国々で導入されています。

### 【届出症例の病原体検索】

- **ポリオウイルス検査は必須**  
[24時間以上あけて2回採取した便の検査]
- **基本的には非ポリオエンテロウイルス検査を実施**  
[麻痺発症早期の5点セット：血液、髄液、呼吸器由来検体(咽頭ぬぐい液必須)、便、尿]
- **不可能な場合は国立感染症研究所で行政検査**

日本小児科学会、予防接種・感染情報、15歳未満の「急性弛緩性麻痺」の全数届出について  
(2018年6月4日アクセス：[http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/AFP\\_surveillance201805.pdf](http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/AFP_surveillance201805.pdf))

## ● AFPの発症が報告された都道府県

2018年5月1日～

11月4日までに発症が報告された  
都道府県

10月8日～11月4日に新たに発症が  
報告された都道府県

茨城 3例	静岡 1例	愛媛 1例
埼玉 3例	愛知 4例	高知 1例
千葉 3例	京都 1例	福岡 4例
東京 4例	大阪 2例	熊本 1例
神奈川 1例	兵庫 2例	宮崎 1例
福井 1例	岡山 1例	鹿児島 1例
長野 1例	山口 2例	沖縄 1例
岐阜 7例	徳島 1例	



国立感染症研究所、感染症発生動向調査週報より作成

- ・ 2018年 第20巻 第20号 P.18~32 (2018年6月4日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-20.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第23号 P.15~29 (2018年6月22日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-23.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第27号 P.16~30 (2018年7月23日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-27.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第31号 P.15~29 (2018年8月24日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-31.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第35号 P.15~29 (2018年9月21日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-35.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第40号 P.16~30 (2018年10月24日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-40.pdf>)
- ・ 2018年 第20巻 第44号 P.16~30 (2018年11月20日アクセス：<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-44.pdf>)

## ● AFPの累積発症例数(2018年5~11月)

2018年

